



特集 新しい協働へのチャレンジ 「品川区子ども・若者計画」と「子ども若者応援ネットワーク」

社会の大きな変化を背景に、不登校やひきこもりなど、学校や地域から孤立し、困難を抱え、苦しむ子ども・若者たちが増えています。

こうした社会動向をいち早く察知し取り組み始めたのが、地域に根ざすNPOの活動でした。子どもたちの居場所づくり、子育てネットワークづくり、学校との連携など、民間ならではの発想とノウハウを活かしつつ事業を展開していきます。

しかしながら、単独での活動には当然限界があり、財政的な面や、長期的・継続的支援の面で、ともに歩むパートナーの存在を必要としていました。そこで、品川区地域活動課が行う「区民活動助成制度」などを活用しつつ、子ども・若者を支え、応援する、ゆるやかなネットワーク団体（「子ども若者応援ネットワーク」）を10年ほど前に結成しました。

一方、品川区子ども育成課では、平成28年度に子ども・若者計画を策定することが決まり、本格始動しました。行政でも支援体制があるものの、セクションごとに専門分化しており、それを補完する横断的な支援の担い手を必要としていました。

このような経緯で、NPOと行政が出会い、自由な発想と行政のバックアップを得ながら、子ども・若者支援を取り組む協働事業「子ども若者応援フリースペース」が誕生しました。地域の抱える社会的課題を、単独のNPOではなく特定分野のネットワークと行政が連携し、政策づくりから具体的事業まで、それぞれの持ち味を生かす、新しい協働へのチャレンジが始まったのです。

品川区
子ども・若者計画



NPO 法人など 8 団体
子ども若者応援ネットワーク



安心できる、自信がつく、仲間がいる そんな居場所があります

子ども若者応援フリースペース

不登校・高校中退・ニート・ひきこもりなど
さまざまな「生きづらさ」を持つ子ども・若者とその家族を応援します



品川区では、家庭や地域とともに、すべての子ども・若者が健やかに成長し、社会生活を円滑に営むための支援などの推進を図るため、「品川区子ども・若者計画」を策定しました。

この計画は、子ども・若者育成支援推進法を根拠とするもので、雇用、教育、矯正・更生保護、医療・保健、福祉等といった子ども・若者に関わる各種専門分野の垣根を越えて、総合的な支援施策の推進を図ることを目的としており、品川区全体が共通の理念のもと、子ども・若者を中心に据えた支援を展開していくことを確認しています。

■ 計画の理念 ■

子ども・若者が社会的自立を目指し、

すべての人と支えあい、ともに生きていくまち“しながわ”

安心できる、自信がつく、仲間がいる そんな居場所があります

子ども若者応援フリースペース

不登校・高校中退・ニート・ひきこもりなど

さまざまな「生きづらさ」を持つ子ども・若者とその家族を応援します

1 月・水・金曜日
10:00 ~ 19:00

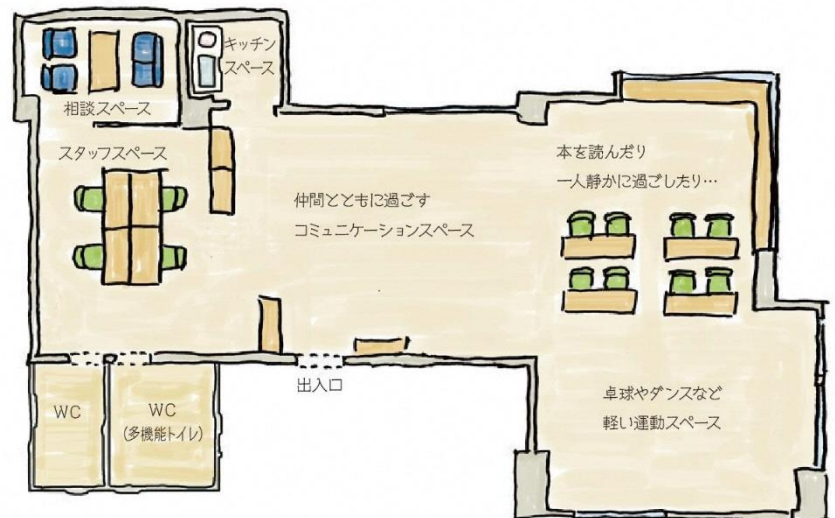
フリースペースでは、専門性をもつスタッフが常駐し、グループ活動や個別相談をおこなっています。
見学・体験などを希望する場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

2 子どもから若者まで
利用は無料

フリースペースは、不登校やひきこもりなど、学校や社会への「一歩」を躊躇している子どもや若者たちの居場所です。ご家族の個別相談もおこなっています。お気軽にお問い合わせください。

3 さまざまな活動
いろいろな経験

みんなで食事をつくったり、おしゃべりしたり、ちょっと運動したり、そして時には一人でのんびりしたり・・・。
安心して、自分らしくいられるスペースを、スタッフとみんなで一緒につくっていきます。



【利用者の声（高校生）】

私はフリースペースに中学2年生から来ています。中学のころから私は不登校で一日中家にいて、ずっと寝ている生活をしてました。ある日、スタッフから「秘密基地があるから行ってみる？」と言われ、面白そうだし暇だからその日に連れて行ってもらいました。それがきっかけでした。私がいいなと思うことは、フリースペースのスタッフがスタッフとしてまた利用者を利用者として接していないことです。そんな壁がない感じが私は好きです。

高校にあがって、毎日学校に通えるようになって、勉強や学校行事、部活動、アルバイトも始めて、毎日が忙しくなりました。そんな中でも毎週月曜は学校帰りにフリースペースに行き、お母さんから「そんな忙しいのによく行くよね」とか言われます。学校やアルバイトの中で、何かをしないとイケないという義務や責任に押しつぶされてしまいそうな日々の中で、少しでも何もなくていい何もない場所が安心できます。だから私はフリースペースに来てしまうのです。この場所が変わらず少しでも長くあってほしいです。

子ども若者応援フリースペース ☎ 03-6421-5471 (〒142-0053 中延 2-2-12-3F)
品川区子ども育成課 ☎ 03-5742-6720

子ども若者応援ネットワーク



「子ども若者応援ネットワーク」は、約 10 年前に佐々木正美さん（児童精神科医、2017 年没）を招いた子育てセミナーを合同で企画運営していたつながりがご縁でできたネットワークです。残念ながら佐々木正美さんが体調を崩されお招きできなくなった 2014 年以降は、毎年テーマを変えて、冒険あそび場、若者の就労、子どもシェルター、映画「さとにきたらええやん」上映など、様々な課題を抱える子ども・若者の理解や支援について学ぶ場を作ってきました。

徐々にネットワークに参加する団体も増え、セミナーを開催する実行委員会から、8 団体で構成する「子ども若者応援ネットワーク」を作りました。

地域に暮らす子ども・若者たちのより良い成長を協働で応援するため、2016 年から「子ども若者応援フリースペース」運営の委託を品川区から受けています。



NPO法人 ふれあいの家ーおばちゃんち

世代を超えて、ふれあいのあるまちづくりをめざす NPO 法人です。

保育サポーターやこども冒険ひろば、子育て広場の運営などさまざまな活動を行っています。

NPO法人 ウーヴ

あかちゃんからお年寄りまでいきいきと暮らせるまちづくりを目的に、読み聞かせや、おはなし会を行い絵本の楽しさ、本のすばらしさを伝える活動を行っています。

NPO法人 パルレ

学校や就労で困難をかかえている発達障害のご本人とその家族を支援する活動を行っています。講演会や学習会、相談、本人の居場所活動などを行っています。

NPO法人 教育サポートセンターNIRE

発達に凸凹のある子どもたちの学習支援、田んぼ体験、夏のキャンプなどの活動を行っています。またニート・フリーター・ひきこもりの若者たちの就労・自立支援も行っています。

NPO法人 夢の地図(みんなの家ゆめっこ)

住み慣れた地域でいつまでも、安心して暮らし続けられるように、「子どもからお年寄りまで、障がいがあってもなくても」を合言葉に活動しています。

NPO法人 しながわチャイルドライン

ホッと安心できる「電話でつながるこころの居場所」がチャイルドラインです。子どもたちの声を聴く常設電話の設置のほか、講演会や講座を実施しています。

NPO法人 ふぁみりーさぽーとちぎちぎネット

誰もが認めあい尊重される社会をめざし、障害のある子どもたちに療育の観点から生活力向上や集団生活適応の指導を行う事業運営を行っています。

任意団体 にじのふね

地域の子ども、若者、そして保護者とゆるやかにつながりながら、さまざまな活動をつくっていきます。

イベントのご案内

地域でつながる みんなの暮らし展 2019

品川区内で活躍するNPO、消費者団体、企業、学校等が地域での活動をPRする見本市です。約50のブースが並び、70を超える団体が活動をPRします。楽しいステージ発表もありますので、ぜひお立ち寄りください。(入場無料)

日時 2019年2月23日(土)
午前10時～午後4時
会場 きゅりあん7階イベントホール



ご報告

11月12日(月)協働ネットワークしながわ会員による「子ども若者応援フリースペース」の施設見学をおこないました。フリースペースに来ている不登校やニート・ひきこもりの若者の現状や、この場がかけがいのない居場所になっていること、行政とNPOの協働で運営されていることなど、活発に意見交換がされました。



地域活動・NPO活動入門講座 であいふれあい ささえあいⅡ

地域やNPOで活動している人の生の声を聴いて、協働について一緒に考えてみませんか。

<第1回>2019年2月7日(木)
品川区役所354会議室

<第2回>2019年3月7日(木)
大井第二区民集会室

全2回 どちらも13:30～16:30
※申し込みは1/11以降に
下記(品川区地域活動課)まで



ご案内

協働ネットワークしながわ について

「協働ネットワークしながわ」は、どなたでも入れる会員制。施設見学会、学習会、情報交換会などを行っています。社会貢献活動をしている方、協働に関心のある方はお気軽に問い合わせてください。また、「協働ニュース品聞」についての問い合わせも下記まで。

事務局連絡先：地域活動課 協働推進係

〒140-8715 品川区広町2-1-36

TEL 03-5742-6605

FAX 03-5742-6878

E-mail chikikat-kyodo@city.shinagawa.tokyo.jp